

建交労 かながわ

発行 建交労神奈川県本部機関紙部
〒 231-0025
横浜市中区松陰町2-7-17
リバーハイツ石川町304
☎ 045-662-2340
FAX 045-641-5453
Email ctg - kana@jasmine.ocn.ne.jp



2019年春闘勝利 建交労3・7中央行動

建交労は全組合員の力を結集し
団結してガンバロー!

宮本議員は、統計不正が大問題になっているがここには3つの大きな問題があると指摘。

勤労統計不正には 3つの

大きな問題が!

3月7日、全国の仲間が結集して春闘勝利に向けた中央行動が取り組まれました。
午前10時から衆議院第一議員会館大会議室で開催された決起集会は宮本岳志衆院議員による国会情勢の報告と連帯あいさつで始まりました。

ひとつは、本来受け取るべきの576億円が支給されていない事、
2つ目は、昨年統計不正に気付いていたにもかかわらずこっそりごまかそうとした事、
3つ目は、勤労統計調査データをともに、今年2月の消費税率引き上げは問題がないと開き直っている事の3点を強調し、安倍内閣の政治責任を国民的世論で追及していくことが大事だと報告されました。

最後に、建交労の皆さんが大幅賃金引き上げ要求を掲げてたち上がっていることに連帯し、同時に全国一律最低賃金の底上げを実現するためにも奮闘しようと呼びかけました。

3月、4月と建交労の主体的力量を十分に発揮しよう
続いて主催者を代表して角田委員長は1948年、文部省発行の民主主義という文庫本を取り上げて、内容は民主主義の根幹は人間の尊厳であると書かれていると紹介し、労働組合についても、労働者が団結して労働条件改善に向けて運動することは重要であると説明されていると一部を読み上げながら、労働組合の重要性について強調しました。

最後に、3月、4月と建交労押し出しの宣伝行動を旺盛に取り組んでいくと呼びかけました。
続いて来賓・代表者から連帯のあいさつが続きました。木副委員長による団結ガンバローが唱和された後、それぞれのコースに分かれて1日行動が展開されました。



県労委第6回審問

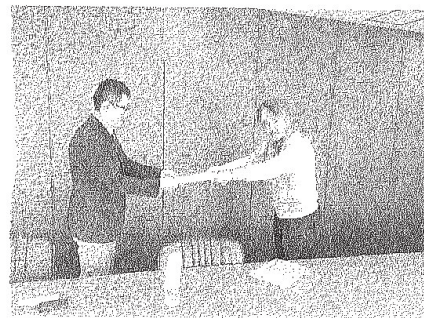
三昭運輸分会の主張の

正当性立証

三昭運輸分会の組合員は、県労委に参加するために2月14日に早退することを1月21日に届け出ましたが、会社側は「早退届を承諾しない」と文書で通知してきました。その理由を「この早退届は当社の業務の円滑な運営に支障を及ぼすもの」と記しており、組合側の主張の正当性を会社自身が立証することになりました。

神奈川トラック部会&ダンプ部会が 共同で神ト協&運輸支局に要請行動！

神奈川県本部と神奈川県南支部は2月22日、神奈川県トラック協会と神奈川運輸支局に対して要請行動を展開しました！



建交労が指摘する

根本的対策の重要性が！

トラック部会では、①若年「貨物自動車運送事業法の層の運転者を確保する実効一部改正」への期待なども語性ある具体策、②過労死防られませんでした。しかし、建交止対策、③「改善基準告示」労のトラック労働者アンケートとトラック労使によるの抜本的改善、④適正運賃「取引動向アンケート」の集収受に向けた公正取引の実「取引動向アンケート」の集現などを求めました。

①過積載運行が増加傾向にあるなかで、神奈川ダンプ支部を「過積載防止対策連絡会議」の構成員に加えるか会議前に報告・提案の機会を設定する、②過積載の背景にある荷主・荷受人に対する指導・罰則・責任追及などを強化する、③ダンプ規制法第4条違反車両や荷台の違法改造ダンプ、土砂禁ダンプでの土砂運搬などに対する取締り強化などを求めました。

神奈川県トラック協会は、要請内容に関わって神ト協が行ってきたこの間の具体策を縷々報告するとともに

根本的な対策の重要性が明らかにされました。つづいて要請を行った神奈川運輸支局では、過積載をはじめとするダンプの違法行為の実態を各地の現場を調査して詳細につかんでいる高橋県本部書記長からの指摘を受けて、運輸支局は対策の強化が必要であることと認めざるを得ませんでした。

か な が わ

ReBorn

4月7日投開票 神奈川県知事選挙

3月11日、県本部執行委員会で

岸 牧子候補の推薦を決定

改選阻止を明確にする県知事の誕生を！

憲法9条を守り、

戦争をしない平和な世の中を！